

まつうら 市議会だより

第66号

令和5年8月1日

編集・発行
市議会だより編集委員会
電話 (0956) 72-1111

令和5年度一般会計補正予算5億8377万8千円可決

地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業費や電力・ガス・
食料品等価格高騰重点支援事業費などが計上されました。

**6月
定例会**



福島町 少年水産教室

クルマエビの放流とアマモの植え付け



まつうら市議会だよりは再生紙を使用しています。

令和5年 6月定例会

令和5年6月定例会を、6月16日（金）から6月28日（水）までの13日間で開きました。

今回の定例会では、松浦市防災会議条例の一部改正など条例9件、令和5年度各会計補正予算11件、その他の議案7件の合計27議案が上程され、いずれも原案のとおり可決いたしました。

また最終日には、その他の議案1件および同意案1件が追加上程され、原案のとおり可決いたしました。
（※議案などの審議結果については、11～12ページに概要掲載）

会期日程

6月
16日（金）

本会議

▽会期の決定

▽会議録署名議員の指名

▽議長への報告

▽市長の市政概況報告

▽文教厚生委員会の中間報告

▽鷹島海底遺跡保存活用特別委員会の中間報告

▽市長提出の諸事項報告

▽市長提出案件の上程・説明・審議・主管委員会付託

▽陳情の受理報告

17日（土）・18日（日）

19日（月）・20日（火）

21日（水）

▽一般質問

▽一般質問

▽一般質問

▽市長提出案件の追加上程・説明・質疑・主管委員会付託

22日（木）・23日（金）

24日（土）・25日（日）

26日（月）

27日（火）

28日（水）

▽主管委員会付託案件の審査報告・採決

▽市長提出案件の追加上程・説明・審議

報告・採決

報告・採決

報告・採決

報告・採決

議会は

インターネット中継でも

ご覧いただけます。

次の定例市議会は

9月です。

松浦市公式ホームページを通じて生放送しますので、ご自宅のパソコン、スマートフォンなどで視聴が可能です。

また、編集が終わりましたら、録画映像の配信も行います。

松浦市公式ホームページアドレス
<https://www.city-matsura.jp/>



録画映像は
こちらから
もご覧にな
れます。

お問い合わせは

議会事務局へどうぞ

TEL(0956)72-1111

一般質問

一般質問は、市政全般にわたる議員が執行者の考えを質（た）すものです。本市議会では、議会運営上1人当たりの質問時間は、60分以内（答弁と関連質問を含む）という取り決めになっています。

今定例会では、6月19日から21日までの3日間で12人が質問を行いました。

市議会だよりは、紙面の都合により質問項目のうち2項目以内で要点を簡略にまとめて掲載しています。（登壇順）

詳しくは、松浦市公式ホームページで公開する会議録または次の場所に備えている会議録をご覧ください。

- 市役所議会事務局
- 市役所各支所・出張所
- 市立図書館
- 市立公民館



会議録はこちらからもご覧いただけます。（6月定例会の会議録は9月定例会前に公開）

一般質問



山岡 議員

○旧松浦市総合衛生センターごみ処理施設問題について

質 東京の大手企業が、旧松浦市総合衛生センターごみ処理施設を活用して「焼却発電をおこしたい」と施設の再利用を提案されたのに、なぜ提案説明を受けなかったのか。

市長 庁内協議の結果、当該用地は、現在の北松北部クリーンセンターが稼働を終了した後の新たな処理施設の建設用地を検討する際に候補地の一つとなり得るため、市が保有しておくべきとの結論となりました。

質 市議会や今福地区の地元にも何も相談なく、企業に断ったのは議会や地元今福地区の皆さまに対しても軽視されていると思いますが、どのような経過でこの大事な問題を決定されたのか。

市長 活用をどうするかという検討であれば、地域の皆さまや議会にも相談することはあったと思うが、庁内で協議した結果、北松北部クリーンセンター稼働終了後の建設候補地として市が保有しておくべきとの判断から、新たな活用はしないと決定しました。

○本市の水産振興のあり方について

質 西日本魚市に必要なのは加工団地ですが、この加工団地に必要な地元漁協または、漁民に対しての同意が取れていない。市長は加工団地をやる意思があるのかお尋ねします。

市長 松浦市の将来を見据えた上で、この事業に何とか取り組みたいという思いを持っています。今後、県と一緒に、関係者の皆さまと協議を続け、ご理解をいただけるように努めていきます。

質 新たに加工団地が実現できたらどのくらいの雇用が創出できると思っていますか。

水産課長 現在の水産加工団地に出している企業の雇用人数を立地面積で割り、新たな加工団地の分譲面積を8万平方メートルと想定して、雇用人数は525名と見込んでいます。

質 磯焼けで漁民にとっては死活問題になっているが水産課の対策はどうなっているのですか。

水産課長 ウニ類の駆除、海藻の種糸設置等を県とともに支援している。市においては、福島地先の2カ所に自然石を設置し、築磯漁場を造成しています。また県営事業ですが、鷹島や福島の地先に自然石と藻場ブロックで構成される増殖礁が整備される予定です。

一般質問



大橋 議員

○一般会計予算と福島診療所特別会計予算の関係性について

質 当初予算と決算で3300万円の歳入見込み違いが出てしまっている結果を受けて財政担当課としてどのようにお感じになられているかお聞かせください。

総務課長 予算額と決算額の大きな乖離があるということについてですが、これは予算査定タイミングに起因するもので、当年度の予算要求期限を前年の11月末から12月頃としています。従いましてその時点での診療収入等の実績や患者数を確認して、要求額の妥当性といったところを判断しています。過大な要求があればつぶさに確認をし、過小であれば指摘をして、予算要求課と総務課で協議をしながら予算計上を行っているところですが、その時点での見込みと結果にずれが生じたということ、金額は大きいという意識はありますが、理由等を確認すればやむを得なかった面もあると判断しています。

○協働によるまちづくりの今後の展望について

質 新たに運営協議会を立ち上げて運営していくとなると新たに予算が必要になるかと思われませんが、その予算をどう考えているのか、またその財源をどうするのか、お考えをお聞かせください。

政策企画課長 先進自治体の事例なども参考にしながら、既に地域が主体となった活動に使用している財源の整理も含めて、令和6年度当初予算における交付金制度創設に向けて検討をこれから進めていきたいと考えています。

質 各町毎の人材に集落支援員を委嘱してまちづくり運営協議会立ち上げをどんどん推進していくべきと考えますがお考えをお聞かせください。

政策企画課長 現在、市としては、市が委嘱した集落支援員を中心とした取り組みではなく、地域住民の皆さまが地域の課題に対して自主的に考えて主体的に動いて、担い手の確保も含めて地域の活動が持続的に継続できるような体制、それを最優先にして推進していきたいと思っています。いずれにしても、集落支援員の委嘱については、モデル地域の取り組み、準備会の立ち上げの状況を踏まえて検討したいと思っている状況です。

生涯学習課長 市が地元アーティストへ出演・参加を依頼する際の謝金について、特に規定はありません。芸術的価値というものは適正に評価されるべきであると思っています。祭り等のご出演に対しては、出演依頼の趣旨をご理解の上、お礼という形でお支払いをしています。

一般質問

鈴木 立
議員

○飼料高騰を含む畜産農家の現況について

質 飼料高騰による畜産農家は現在大変な苦境に陥っている。世界的コロナ感染による著しい消費低迷が及ぼす販売価格の下落。また、世界有数の穀倉地のウクライナ紛争による輸入阻止および経済制裁により油、肥料、飼料、農機具等全て値上がりとなり、これまで推進してきた牛の千頭増頭の言葉が聞かれない。畜産業は、農業経営の基幹である。国、県、市が連携して実効性のある施策によって現況打開を図る必要がある。市は今の現況をどう考えているのか伺いたい。

農林課長 新型コロナウイルス感染症の影響により、農産物販売価格の低迷、販路の縮小等を招きました。また、ウクライナ情勢等の影響では、資材価格が高騰し、輸入に頼っている化学肥料や畜産飼料の価格高騰、農機具の価格高騰や納品の遅れなど農業経営へ大きな影響を与えています。肉用牛に関しては、枝肉価格が低迷し、子牛価格にも影響しました。農家へは子牛販売価格と経費への二重の影響が出ています。

市長 団体の皆さま方の「我々の団体はこういうふう困っているから、この分について何とかできないか」といった声をしっかりと受け止めながら、必要な施策を現場の声に反映した形で対応するように努めていきたいと考えています。

○椋呂路トンネルの現況と早期着工に向けての今後について

質 椋呂路トンネルの早期着工が強く望まれる。玄海原子力発電所から30km圏内に位置している板山トンネルは貫通し、付帯工事がなされている。供用開始間近と聞いている、間隔をおかず続けて椋呂路トンネル早期着工を強く進めてほしい。

今回、総会に招かれたその席で佐世保市長さんが命の道として重要であると発言しておられた。また、私に世知原の林佐世保市議会議長さんが、互いに連携して椋呂路トンネル早期着工を目指し、頑張ろうと言っていた。救命救急トンネルとして、市の考えを伺う。

市長 椋呂路および板山トンネルの建設については、両トンネルが完成することで生活基盤の充実、命の道としての整備をはじめ、物流、観光の拠点といったさまざまな事業効果が最大限に発揮されることを念頭に置いて、引き続き官民一体となって要望活動を行っていきます。

一般質問

武部 武
議員

○人口減少克服に向けた対策について

質 毎年、人口減少が進んでいるが、2030年に2万人を目標として人口減少克服対策を立て直す戦略の考えはあるか。また、松浦市の少子化対策や子育て支援策はどのようなか。

政策企画課長 人口減少問題は本市の最重要課題であり、議員ご指摘のとおり、このままでは、将来まちとしての機能を維持できない恐れがあると思っています。この減っていくということに慣れてはいけない、常に現状に危機感を持って、あらゆる手だてを講じる必要があると考えています。市民がここに住みたい・住み続けたいと思ってもらえるように、松浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、持続可能な地域をつくっていくとしており、企業誘致等による新たな雇用の場の創出、交流人口の拡大、結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援などさまざまな施策に取り組んでいるところ。また、働く場の確保という意味では、西九州させほ広域都市圏において参画自治体が連携して各施策に取り組んでいます。この広域都

市圏域も地元と捉えていただき、圏域内の幅広い職業をPRして、松浦から通っていただくといった取り組みも行っているところです。引き続き市民と行政がお互いに補完・協力し合いながら、人口減少社会においても持続可能な地域をつくりたい、そのためのさまざまな施策に取り組んでいきたいと考えています。

○梶谷城跡整備と鷹島海底遺跡、梶谷城跡を中心とした史跡観光ルートの構築について

質 樹木の伐採で県指定史跡松浦寛梶谷城跡からの景観が一段と良くなりました。梶谷城跡の活用策については、松浦市文化財保存活用地域計画の中で検討と言われているが、文化財に関するアンケート結果「保存整備の充実」が一番大切との回答でしたがどのように計画に反映させるのか。

文化財課長 文化財の堅実な保存とともに、観光や学校教育などの分野での活用を推進していくことが期待されているのではないかと分析をしています。このアンケートなどの基礎調査結果については、昨年度の素案作成の際に反映をさせているところ。さまざまな課題等を抽出したところであり、令和5年度はその抽出した課題に対する方針・措置等を検討して取りまとめしていきます。

一般質問

吉岡
議員

○調川港用地造成の進捗状況と住民への説明会について

質 昨年から現在までの進捗状況をお答えください。

水産課長 令和4年6月・漁協組合長との協議、7月・漁協の松浦、新星鹿、青島地区役員との協議、8月・漁協組合長との協議、11月・松浦、新星鹿、青島地区で漁業者説明会、12月・出された意見等を組合長、筆頭理事へ報告、令和5年1月・副市長から組合長へ事業推進のお願い、2月・松浦、新星鹿、青島地区役員との協議、4月・若手漁業者との意見交換会を実施する等、関係者皆さまにご理解いただけるよう協議を重ねています。

質 地元自治会を中心とした町民向けに、現状と今後についての説明会を早期開催していただきたいが、市長の考えをお聞かせください。

市長 令和2年9月に開催した説明会以降の市の取り組み状況について、調川地区長の皆さまにお集まりいただき、説明会を開催したいと考えています。

○本市のスポーツ振興と市民運動公園の現状について

質 屋外施設のナイター照明料金について、高校生以下の減免措置が昨年度で終了したため、再度減免措置の検討をお願いしたいがお答えください。

生涯学習課長 高校生以下の使用料については、通常料金の2分の1とする措置で対応しているため、ご理解をいただきたい。

質 市長はかねてより西九州道の整備運用が開始されたら、スポーツ大会は他市の開催もありと言われてきたが、その考えは今も変わらないかお答えください。

市長 佐世保、平戸、北松、松浦といった広域連携による施設の活用は、西九州させば広域都市圏の中で取り組んでいる事業のため、考えは変わっていません。

質 建設から約50年経つ市民運動公園について。改修基本構想は作成しているため、今後実行しないのか市長の考えをお聞かせください。

市長 今後の具体的なスケジュールはお示しできないが、市役所本庁の耐震化、福島地域の複合庁舎、御厨公民館改築など、施設の整備、新規事業が山積しており、公共施設等総合管理計画、財政状況等を考慮しながら進めます。

一般質問

神田
議員

○伊万里湾における赤潮被害防止対策の進捗状況について

質 赤潮被害防止対策については、行政の支援は必要不可欠だと考えるが市長の見解を伺いたい。

市長 赤潮の被害防止のためには、赤潮の発生を防止する対策が最も重要だと考えています。しかしながら、いまだに赤潮発生の原因や有効な対策が確立されておらず、養殖現場においては、毎年、赤潮の監視調査や防除剤の散布など、多大な労力を要していることから、赤潮の発生を抑止する対策が強く望まれていることは承知しています。

赤潮が一旦起こると甚大な漁業被害につながる恐れがあり、養殖業者の皆さまにとっては死活問題になりかねません。そうならないためにも、現在、長崎県において、伊万里湾における赤潮発生の原因を解明するため、大学や国などの専門家の協力を得ながら赤潮の監視・観測に取り組まれていますので、赤潮発生を防止する有効な取り組みがあれば、行政として必要な支援を検討していきたいと考えています。

○松浦市地域公共交通について

質 鷹島く入野線の路線バスについては、デマンド型への移行が最適と考えるが、今後どのような運行方法を考えているのかお尋ねしたい。

産業振興課長 鷹島く入野線の利用状況が朝と夕方の児童生徒の通学時間帯に集中していることから、デマンド型と定時定路線型を併せた運行についても検討しているところです。移行によって児童生徒が混乱しないような運行方法となるとともに、市の補助金支出の改善につながるよう検討したいと考えています。加えて、本路線が陸路における唯一の都市間交通となりますので、持続的な運行方法および運行体制となるよう検討します。

質 今後、松浦市が目指す地域公共交通の方向性をどのように考えているのか、市長の見解を伺いたい。

市長 本市が目指す地域公共交通については、「松浦市での生活を支える公共交通」「児童生徒の通学を支える公共交通」「住民及び観光客に向けた情報発信がされている公共交通」「最適化された公共交通」「みんなで支える公共交通」「環境にやさしい公共交通」の6つの方向性のほか、地域公共交通計画に掲げる将来像である「松浦市に住み続けるための持続可能な公共交通ネットワーク」の実現を目指します。

一般質問

水 志
議員

○福島小中学校における学校教育環境整備について

質 屋外用トイレに関し、方針の変更に伴う保護者など、関係者の反応をどのように受け止めているのか。

教育長 福島の小中学校の屋外トイレの設置については、PTAから学校環境等整備に係る要望書をいただいております。真摯に受け止めています。が、学校教育上、学校施設としては充足していると判断しています。

質 日常の教育活動において、屋外のトイレがなくても支障がないと誰が判断されたのか。

教育長 屋外トイレの設置については、学校施設としては充足しているという考えから、市として総合的な判断を行いました。

○令和4年度に開催された子ども議会について

質 子ども議会での質問変更の実態を全てお答えいただきたい。

学校教育課長 令和4年4月19日に子ども議会の目的「ふるさとを愛し、誇りに思う信条を育む」「松浦市の発展に貢献しようとする意欲を高める」や実施要綱の内容について各校

と打ち合せ会議を開催し、その中で、質問内容は子ども議会のテーマ「住み続けたいを実感できるまちづくり」に関連あるもので、1校当たり15分以内とすることなどを申し合わせました。この申し合せ事項に沿って質問を整理・統合し、質問の数を減らした学校は4校ありました。

また、当初上げていた質問内容を削減した学校は2校ありました。

質 質問の内容を、誰がどのように判断し変更するよう指示したのか。

学校教育課長 子ども議会の目的、4月当初の学校との打ち合せ内容、特に子ども議会のテーマとの関連、そして1校当たり15分以内とするなど、この申し合せ事項に沿って、教育委員会として総合的に判断し、指示を行いました。

質 質問の変更はおろか、質問内容まで行政側が提示している実態について、松浦市長としての考えを伺う。

市長 子ども議会は、将来の松浦市を担う若者のこれからの松浦市への提言を聞かせていただく貴重な場であると認識しています。

また、子ども議会では、中学生からの柔軟な発想やアイデアを大いに期待しており、今後も教育委員会とともに、よりよい子ども議会が開催されるよう努め、学校との打ち合せをしつかりと行いながら改善していきたいと考えています。

一般質問

武 田
議員

○松浦市読書活動推進計画における各施策の進捗状況と第2期計画策定へ向けた取り組みについて

質 図書館における①団体貸出の現状②団体貸出拡充の具体策③図書館へ来館することが困難な地域への配本事業の今後の対策について。この3点に対する答弁を求めます。

生涯学習課長 ①については、学校と保育施設が対象で、要望を受けた箇所を実施しています。学校へは図書館職員が選書し、移動図書館車を活用、保育施設へは、毎月1回福島・鷹島・青島に移動図書館車、その他の地域には公用車を活用しています。②については、まだ活用されていない施設がありますので利用者からのご意見ご要望を調整しながらよりよい手法を模索します。③については、来館することが困難な方への個別の対応の状況として、視覚障害者の方へ点字本や電磁記録媒体を活用したデジタル録音図書の配本を行っています。今後、利用者のご意見を伺いながら拡充を図ります。

質 現在の鷹島公民館図書室ではその機能がほとんど果たせていない状況にあります。福島図書館において

も松浦図書館分室として整備した方が予算を有効に使い、管理が行き届くと考えます。鷹島公民館図書室、福島図書館それぞれを松浦図書館分室として整備する考えはありますか。

生涯学習課長 市立図書館と一体的に整備することについて、そのメリットやデメリットを精査しながら検討していきます。

○不適切保育の未然防止及び発生時の対応策について

質 不適切な保育が全国各地で明るみに出ました。それを受けて本市では各施設に対してどのような対応をなされましたか。

子育て・こども課長 国から発出される不適切保育に係る情報につきましては、市内各保育所等へ適宜情報提供をしています。今月は市独自で、不適切な保育に関するアンケート調査を市内の保育所等に行いました。保育現場では、懸命に取り組まれていると思いますが、改めて自己の保育について振り返る機会が得られるよう支援をしたいと考えています。

具体的には、県の幼児教育センターと連携しながら不適切な保育の未然防止に向けた県の幼児教育アドバイザーによる支援事業や公開保育を通じて研修等に取り組んでいただくと、う働きかけを行う予定としています。

一般質問

和田
議員

○住宅施策の課題と対応策について

質 本市の公営住宅等に指定管理者制度を導入することについて、今後の公営住宅等の管理運営のあり方について市長のご所見を伺います。

市長 指定管理者制度の導入に関しては、「民間でできるものは民間で」との考えに立ち、機能的・効率的な行政組織体制に取り組む必要があります。メリットとしては予算管理や入居者への対応の多くを指定管理者に委ねることができるため、一定数の職員の削減が可能となること、職員の負担が軽減し、住宅政策の企画、推進および調整等の業務に専念できることが挙げられます。課題としては、本市の公営住宅の多くが老朽化しており、指定管理者制度の場合、採算が取れないと事業が成立しないことから、修繕の負担が最大の問題になると思われます。導入については受け皿の有無を含め、今後の検討課題と認識しています。公営住宅等の管理運営のあり方に関しては、県内でも高い公営住宅の世帯数比率を、市の規模に応じた適正な管理戸数にしなければならぬと考えています。耐用年限を超過し広範囲に劣化して

いる団地や小規模団地、需要が見込めない団地等については新たな入居募集を停止するなどの対策を講じながら、集約や用途廃止を積極的に行わなければならないと考えています。変化した生活スタイルや高齢者に配慮した住環境の整備についても今後の重要な課題と捉えています。

○行政サービスの体制整備について

質 喫緊の課題である人材の確保・育成には具体的な対策が急務であります。今後の行政サービスの体制整備を行う上での市長のご所見を伺います。

市長 優秀な人材を確保するためには、多くの方に採用試験を受験していただく必要があります。具体的な対策として、受験しやすい基礎能力試験の導入、受験年齢の引き上げ、職務の経歴を踏まえた一次試験免除者の拡大などがあり、導入については能力実証の視点到意する必要がありますが、これまでの運用を見直すことは必要不可欠だと考えます。また、意欲ある人材を確保する上でインターン制度は重要であり、積極的に受け入れたいと考えています。今後は人材の確保・育成、業務のDX化推進にも積極的に取り組み、事務の効率化、省力化につなげ、人口減少等社会環境の変化に柔軟に対応できる体制を整備していきます。

一般質問

宮本
議員

○ふるさと納税寄附額、増大戦略について

質 ふるさと納税寄附額の増大は、松浦市にとつてどの程度、重要な案件との認識を持っておられるか、見解をお聞かせください。

副市長 ふるさと納税寄附額のうち、返礼にかかる経費を除いた相当額が、本市のまちづくり施策を展開する上で貴重な財源となっており、地域資源を活用した地元生産者の所得向上にもつながる制度であることから、本市の地域活性化を図ることができるところです。

質 今年4月に「ふるさと納税魅力発信室」の別室での取り組みを廃止し、文化観光課に包含した機構改革については、ふるさと納税寄附額の増大にとつて有利と判断しての機構改革と考えますが、その意図について説明をお願いします。

市長 別室での執務をやめ、観光・物産振興業務を担当している係と同じ課になることで有利になると判断したのは、3つの理由があります。1つ目は、返礼品の充実や開発などの物産振興策の連携、2つ目は、

観光PR、特にアジフライの聖地に関するPRを全国へ、さらには世界へ向けた魅力発信の連携、3つ目は、今後の人口減少に伴う職員の減も見込み、それぞれの業務において、充実した職員体制を維持し続けることは限界があると思っており、観光振興担当と魅力発信の担当が連携して取り組むことができる体制を構築することで、より効率的に業務が行えるものと考えています。

○松浦高等学校を地域社会で応援することについて

質 令和5年6月30日に、松浦高等学校主催で「高校と地域の協働による魅力ある教育・地域・未来づくり」と題して、講師として「地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事岩本悠氏」の松浦高校市民講座が開かれますが、市としての対応をお聞かせください。

教育長 私個人は、6月30日は他の用務、松浦市文化財保存活用地域計画策定協議会への出席のため、松浦高校の講演会には参加ができませんが、教育次長や学校教育課職員数名に松浦高校の講演会の参加を指示しています。

また、市内各小中学校の校長をはじめ、可能な限り多くの教職員に参加するように、各校へ案内をしているところです。

常任委員会の審査概要

総務委員会

【議案】松浦市防災会議条例の一部改正について

松浦市防災会議委員に陸上自衛隊の自衛官を加えることに伴い、条例の一部を改正することを審議し、可決しました。

【議案】財産の取得について

老朽化した災害対応特殊救急自動車を新規車両へ更新することを審議し、可決しました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計補正予算（第2号）（関係分）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億7675万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ177億9283万7千円とすることを審議し、可決しました。

歳入についての主な内容は、国庫支出金2億314万2千円、県支出金1億1295万円の増額であり、妥当と認め原案のとおり可決しました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計補正予算（第3号）（関係分）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2

億701万9千円を追加し、歳入歳出予算総額を歳入歳出それぞれ179億9985万6千円とすることを審議し、可決しました。

歳入についての主な内容は、国庫支出金2億141万8千円の増額であり、妥当と認め原案のとおり可決しました。

産業経済委員会

【議案】松浦市一般会計補正予算（第2号）（関係分）

○「鷹島神崎遺跡」観光コンテンツ造成事業として6百万円が計上されました。国指定史跡「鷹島神崎遺跡」への関心を高めるため、「鷹島神崎遺跡」に沈む元寇船団、蒙古襲来に関わる遺物を、専門ガイドの案内による一貫したテーマとストーリーでつないだアドベンチャートラベルの要素を組み込んだ、高付加価値な観光コンテンツとして造成するための予算計上であり、妥当と認めました。

○地域脱炭素移行・再エネ推進重点対策加速化事業として1億5066

万3千円が計上されました。

地域脱炭素への移行および再生可能エネルギーの導入推進を図るため、民間施設の自家消費型太陽光発電の導入支援、営農型太陽光発電の導入促進および公共施設のオンサイトPPAによる太陽光発電設備の導入等を行うための予算計上であり、妥当と認めました。

文教厚生委員会

【議案】松浦市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

令和5年10月1日より子ども医療費助成の現物給付の対象者を中学生まで拡大することに伴い、本条例の一部を改正するものであり、妥当と認めました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計補正予算（第2号）（関係分）

○学校給食費 委託料 測量調査・設計等委託料

1159万4千円については、鷹島調理場改築に係る地質調査の実施委託のため妥当と認めました。

○公民館費 負担金補助及び交付金

コミュニティ助成事業助成金

1870万円については、コミュニ

ティ助成事業助成金を活用して、西木場自治区のエアコンの整備、江口一区の活動備品の整備、大石区の

公民館の建設を行うため妥当と認めました。

【議案】令和5年度松浦市一般会計補正予算（第3号）（関係分）

電力・ガス・食料費等の価格高騰対策費978万8千円については、学校給食用材料が高騰しており、子どもたちに必要な栄養価を維持するために、物価高騰分を支援するため、妥当と認めました。

その他各委員会の活動

【文教厚生委員会中間報告】

5月10日に松浦市小中学校適正配置についての答申の説明を受けての教育委員会の考え方について、また上志佐小学校の現状と市内小中学校における不登校の現状と対応についておよび特認校制度について学校教育課より説明を受け質疑を行いました。

委員からは上志佐小学校の今後のあり方については、避けて通れない問題であり存続させたいと考えているが、閉校した大崎・田代・養源小学校との整合性をどう保っていくのかなどの意見が出ました。

学校教育課からは、松浦市小中学校適正配置については、児童生徒の減少に伴い、適正配置・適正規模の検討が必要であること。また上志佐

小学校の今後のあり方については、方向性はまだ出ていないが、存続させる場合には委員からの指摘の通り、大崎・田代・養源小学校の閉校理由との整合性の観点から慎重に対応していかなければならないなどの答弁がありました。今後、教育委員会と本委員会間で共通の認識を持つべく、引き続き議論を重ねていくこととしています。

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

5月30日に委員会を開催し、今後の国に対する要望活動について協議を行いました。要望活動は官民一体となつて行うこととし、日程や要望内容などの詳細については、要望先や行政側と十分に調整を行いながら進めていくこととしました。また昨年10月に開催した委員会において、鷹島海底遺跡の保存処理および公開施設についての「基本コンセプト」を作成すると答弁があつていたことから、今回の委員会での提示を求め、「鷹島における水中考古学の拠点づくり基本コンセプト(案)」について内容説明を受けました。

委員からは基本コンセプト完成後は議会に示すように求める声や国への要望活動までに完成させることを求める意見、要望活動をする際には基本コンセプトを示すとともに、水中考古学の重要性をさらに訴えてい

く必要があるとの意見もありました。今後も行政と民間と連携しながら本特別委員会の活動を進めていきたいと考えています。

県・県議会要望

5月26日長崎県庁において、市長、教育長、議長、地元選出県議会

議員、各常任委員長、西九州自動車道整備促進特別委員長、鷹島海底遺跡保存活用特別委員長および関係各課長出席のもと、「鷹島神崎遺跡の保存と活用について」「水産物輸出拡大施設整備事業により再整備を行った松浦魚市場を核とする加工・物流拠点整備のための新たな用地造成について」の2件の重点項目と、

「原子力防災対策について」「親元就農による経営継承に対する支援について」「水産物の輸出・消費拡大対策について」「伊万里湾における赤潮対策について」「松浦魚市場における水場確保対策について」「脱炭素社会における松浦火力発電所の存続について」「電源三法交付金制度の見直しについて」「一般県道(喜内瀬鍋串辻線)における福島大橋の機能拡張及び福島大橋から福島港間の改良事業の早期着手について」「主要地方道(佐世保日野松浦線)における棕呂路トンネル(仮称)建

設及び赤木地区(仮称)改良事業の早期着手について」「西九州自動車道の整備について」の10件を、大石県知事および徳永県議会議長に対し要望活動を行いました。



県知事要望



県議会議長要望

議員表彰

6月14日に開催された全国市議会議長会第99回定期総会において、中塚祐介議員が議員10年以上の表彰を受けられ、6月16日に議場にて伝達されました。



中塚議員表彰

議会目録

- 5月
- 10日◆文教厚生委員会
 - 18日◆長崎県市議会議長会定期総会(平戸市)
 - 26日◆長崎県知事・県議会議長への要望活動(長崎市)
 - ◆西九州自動車道建設促進期成会定期総会(伊万里市)
 - 30日◆鷹島海底遺跡保存活用特別委員会

28日	◇4市1町西九州自動車道建設促進協議会（佐世保市）
26日	◇長崎県戦没者慰霊奉賛会定期総会（佐世保市）
24日	◇松浦鉄道自治体連絡協議会（佐世保市）
18日	◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会中央要望（東京都）
14日	◇長崎県西九州自動車道建設促進期成会総会（松浦市）
14日	◇全国離島振興市町村議会議長会総会（東京都）
11日	◇文教厚生委員会行政調査（13日）
10日	◇鷹島海底遺跡保存活用特別委員会（伊万里市）
7日	◇長崎県離島振興市町村議会議長会臨時総会（壱岐市）
4日	◇4市1町西九州自動車道建設促進協議会理事会
7月	◇議会運営委員会
28日	◇市議会だより編集委員会
21日	◇市議会より編集委員会
14日	◇県選出国会議員への要望活動（東京都）
9日	◇議会運営委員会
8日	◇九州市議会議長会定期総会（長崎市）
2日	◇東彼杵道路建設促進期成会総会（佐世保市）
6月	◇棕呂路・板山トンネル建設促進期成会総会（佐世保市）

議案等の審議結果

条 例	○松浦市防災会議条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市印鑑条例の一部改正について	可決（全員）
	○松浦市火災予防条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
	□松浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全員）
	◇松浦市建築関係手数料条例の一部改正について	可決（多数）
予 算	◎令和5年度松浦市一般会計補正予算（第2号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市青島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）
	□令和5年度松浦市福島診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決（全員）

議案等の審議結果(つづき)

予 算	☐ 令和5年度松浦市鷹島診療所事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	☐ 令和5年度松浦市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇令和5年度松浦市松浦魚市場特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇令和5年度松浦市工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇令和5年度松浦市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇令和5年度松浦市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◇令和5年度松浦市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
	◎令和5年度松浦市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員)
その他	○財産の取得について	可決(全員)
	◇市道原石山線道路災害復旧工事請負契約の変更について	可決(全員)
	※財産の取得について	可決(全員)
同意	※松浦市固定資産評価員の選任について	同意(全員)

(注) 文頭の記号は審査の付託先を表しています。

◎・・・各常任委員会へ分割付託 ※・・・委員会付託を省略し全員審査

○・・・総務委員会 □・・・文教厚生委員会 ◇・・・産業経済委員会

市議会だより編集委員会

委員長 徳田 詳吾
副委員長 吉岡 健次
委員 志水 周
委員 大橋 尚生
委員 武部 周清

(徳)

市議会議員選挙より1年半を経過し、新しい議員、2期目以上のベテラン議員、共に議員としての意見を述べる機会の一般質問において、市政に対する意見や政策の提案を、各議員が思いを込めて行っておりませんが、理事者の答弁は前向きな言葉はなく「検討します。」の一言さえもない状況が、三月議会、六月議会と続いております。このままでは「松浦市の未来はない」との意見まで出ています。

しかし我々議員はこれにめげずに頑張つてまいりますので市民の皆さまよろしくお願いいたします。

後 編
記 集

